

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	生活環境コース	対象学年	2年
講義日	令和 5年 9月 28日(木)		
テーマ	自然共生社会「これからの里山保全のあり方」		
講 師	兵庫県立南但馬自然学校学長 (兵庫県立大学名誉教授) 服部 保		
<b>講義内容</b> 里山とは、桃太郎のおじいさんが柴刈りに通った「山」、つまり、 <sup>まき</sup> 薪、 <sup>しば</sup> 柴、炭、草、落葉などの燃料や肥料などの採取の場のことです。里山は自然にできたものではなく、人の手によって維持されている植生なのです。その里山は、かつては全国、どこにでもありましたが、ガス、電気による燃料革命によって、里山は利用されなくなり、放置されて50年以上経過しました。シルバーカレッジ周辺に広がっている里山も、実は、里山ではなく、誰も利用しなくなり、放置された里山、すなわち里山放置林となってしまいました。人の手が加わる以前の自然植生・照葉樹林(再度山、摩耶山、太山寺に残存)と里山や里山放置林との違いはどこにあるのでしょうか。またこのまま里山放置林を放置し続けると、どのような樹林になるのでしょうか。里山放置林を子供達の体験学習の場や市民の生涯学習の場として、あるいは防災・減災効果を上げる場として整備しなくても良いのでしょうか。これらの問題についてお答えします。			
<b>講師からのメッセージ</b> 私達が安全に生活するために、防災・減災を考えた里山放置林の管理が必要です。さらに、子供達の体験学習・自然学習のために身近な里山放置林を整備することはたいへん重要です。里山放置林の整備を進める前に、まず里山を学びましょう。			

(令和5年度)

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	生活環境コース	対象学年	2年
講義日	令和5年10月12日(木)		
テーマ	自然共生社会「イカナゴと海(近海海洋環境の現状と課題)」		
講師	姫路大学非常勤講師 佐名川 洋之		
講義内容			
<p>私たちの目の前の海(大阪湾)はコンクリートで囲まれ自然海岸はほとんどありませんが、今、海の中はいったいどうなっているのでしょうか。神戸の海は港や観光などで注目されることは多いのですが、生物の視点から語られる機会はほとんどありません。今回の講義では次の3つの課題を概観し、海の未来と豊かさについて考える機会を提供したいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○プラスチック汚染</li><li>○温暖化</li><li>○漁獲量の減少</li></ul>			
講師からのメッセージ			
<p>SDGs(国連の持続可能な開発目標)のひとつに「海のゆたかさを守ろう」があります。では豊かな海とはどんな海で、それを守るには何が必要で私たちに何ができるのでしょうか。さまざまな課題を俯瞰しながらいっしょに考える機会にしたいと思います。</p>			

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	生活環境コース	対象学年	2 年
講義日	令和 5 年 11 月 16 日(木曜日)		
テーマ	脱炭素社会「環境配慮型都市交通体系を神戸に」		
講 師	神戸大学名誉教授 小谷 通泰		
講義内容	<p>わが国では、1960年代に入って都市への人口の集中と急激なモータリゼーションが進行し、住宅地は郊外部へと広がり、郊外型の大型商業施設の立地や官公署・病院等の都心部からの移転も相次いだ。このような市街地の拡大は中心市街地の衰退をもたらすなど都市構造を歪めるとともに、車なしでは日常生活を送ることが困難な状況を生み出し、環境面はもとより、経済活動・社会生活の持続可能性という面でも深刻な事態を招いている。</p> <p>都市交通において、こうした環境負荷の増大をもたらした大きな要因は、自動車保有台数の増加と郊外部への市街地の拡大により、自動車利用（利用頻度と利用距離の両方）が増加したことにある。したがって、交通政策の観点から環境負荷を低減させるためには、過度な自動車利用から公共交通、徒歩・自転車といったグリーンモードの利用への転換を図ることが必要である。また同時に、まちづくりの観点からも、拡大した市街地を集約化し、公共交通を軸としたコンパクトな都市構造を実現することが求められている。本講義では、環境配慮型の都市交通体系について、目指すべき方向性や具体的な方策を示すとともに、構築に向けた課題を述べたい。</p>		
講師からのメッセージ	<p>宇都宮で 75 年ぶりに路面電車が新設されたというニュースが報じられました。まちづくりと交通との連携が大いに期待されていますが、本講義でもその重要性について皆さんに理解して頂ければと思っています。</p>		

(令和5年度)

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	生活環境コース	専攻	対象学年	2年
講義日	令和5年12月07日(木)			
テーマ	地域環境「気候変動に伴う災害に備えて」 —六甲山地の生い立ちと自然災害への備え—			
講師	髯本 格 (元神戸親和女子大学教授・かがく教育研究所)			
講義内容				
1 時間目 激甚化する気象災害・土砂災害と防災				
・最近数年間の日本列島と世界各地での自然災害(気象災害、土砂災害)振り返ります。				
・六甲山地周辺(阪神間・神戸)での過去の水害(昭和13年、昭和42年など)とその後の対策について考えます。				
・六甲山地周辺の地形・地質はどんなものがあり、どんな歴史を持っているのかを、実物の岩石を観察しながら学びます。				
・今後起こる可能性のある土砂災害と対策・防災について考えます。				
2 時間目 兵庫県南部地震と六甲変動、南海トラフ地震への備え				
・兵庫県南部地震とは何だったのか? なぜ、阪神・淡路大震災になったのかを考えます。				
・六甲変動の一コマとしての兵庫県南部地震について考察します。				
・なぜ、地震が起こるのか? 地震の活動期に入った日本列島について考えます。				
・東北地方太平洋沖地震とは何だったのか? 東日本大震災とその教訓について考えます。				
・必ず起こると予想される南海トラフ巨大地震と防災対策について考えます。				
講師からのメッセージ				
・自分の住む地域の大地の成り立ちと災害の可能性を知ることが命を守ることに繋がります。身近な風景から地形・地質を読み解く力をつけましょう。				